



平成 30 年度 錦田小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月4日（木）に開催された「平成30年度錦田小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 4 日（木）19:00～20:40		
会 場	錦田公民館		
参加団体 (27名)	御門自治会 玉沢町内会 押切町内会 桜ヶ丘町内会 東富士見自治会 並木自治会 学校支援地域本部	錦田幼稚園 錦田幼稚園 PTA 錦田小学校 錦田中学校 スクールガード 子ども会連合会 保護司	エコリーダー 環境美化推進委員会 民生委員・児童委員 小山中島老人クラブ 錦田地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

東富士見自治会	10月9日に錦田小学校の花壇の手入れをします。時間のある方はご参加ください。
玉沢町内会	10月14日に老人ホームも含め約100名が参加する防災訓練、1月6日に子ども会でどんどん焼きをします。
エコリーダー	10月29日に錦田地区歴史ウォーキングをします。
御門自治会	保育園の送迎渋滞に困っています。
小山中島老人クラブ	昨年の連絡会で老人会をつくると言ったが、老人会を設立し、ウォーキングを中心に4回実施しました。高齢者以外の方も月1回程度、公民館に集まる機会をつくろうと考えています。
錦田地区地域包括支援センター	錦田地区介護予防講座を東富士見集会所で5回の日程で開催します。70歳で60歳の体力を維持しようとしているので、元気な方にも参加いただきたいです。認知症サポーター養成講座を10月30日に錦田公民館で行います。是非、ご参加ください。
錦田中学校	11月3日にPTAバザーを体育館で開催するので参加してください。松並木清掃などに中学生が参加しています。中学生が手伝うことができることがあれば、ご連絡ください。
桜ヶ丘町内会	10月7日の校区運動会に地区で参加します。
押切町内会	中学の通学路の法面を、市から材料を提供してもらい中学生と一緒に11、12月に修繕したいと考えています。 連絡会の話し合いのテーマは、参加者が話し合いたい内容の方がいいと思う。校区の運動会には20以上ある自治会のうち、5自治会しか参加していません。運動会や高齢化、公民館の使い勝手などが話し合えるといいと思います。
錦田幼稚園	月に1回廃品回収をしています。収益が減っているので、ご協力をお願いします。
保護司	罪を犯してしまった人の再犯防止とその人たちのケアを地域の人と一緒にしていければと思います。未然に防ぐことが大事なのでご協力ください。

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	ごみ量の現状と将来の目標
	自主防災活動

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組

さらにごみを減らすために何ができるか

現在の取組み

■資源回収に出している

- ・資源ごみを改修ボックスに入れる
- ・布類はリサイクルBOXへ出す
- ・資源回収等を行っている
- ・資源となるゴミは、イオンやセンターに持って行っている
- ・リサイクル出来るものを常にチェックしている
- ・ペットボトルをマックスバリュへ持っていく

■使えるものは売っている

■分別して捨てている

- ・雑紙をこまめに区分して出す
- ・利用できる物を売る
- ・ミックスゴミの分別徹底
- ・ミックス古紙の分別を特に注意している

■水分を切って捨てる

- ・植木の乾燥後の排出
- ・生ゴミの水切り

■畑に返している

- ・裏が畑（近くにある）に生ゴミを極力埋めている
- ・家庭菜園で出た野菜・草等を乾燥してから出す
- ・草木を自宅にて焼却する

■無駄なものは買わない

- ・考えて物を買って無駄をなくす
- ・古い物・使わない物をしまっておかないで早く出す
- ・食べる量を考える



何ができるか

●誰が出したゴミか分かるようにする

- ・ゴミ袋にバーコードを付けられないか

●先進事例に学ぶ

- ・他県を参考①分類を増やす②分類を徹底する
- ・分量制限をもっと低し、各々ゴミを減らす自覚を育てる

●ゴミの有料化

- ・ゴミ袋の有料化
- ・ゴミ回収を有料にする

●食品を残さない教育をする

- ・食べきる残さない教育
- ・業者への教育
- ・市が主導で各町内単位でこの様な話し合いを設ける
- ・食品を使い切る
- ・親から子どもに教える
- ・教育を徹底する
- ・子ども会に出前講座に行く

●埋め立て処理への危機意識を高める

《課題》

=マナー違反をどうする？

- ・町外から捨てられてしまう
- ・外人はチラシで分からない（理解できない）

⇒ “袋の中を見る” と貼紙で知らせる

現在の防災訓練の参加状況

現在の取組み

<玉沢>

- 毎日訓練を行っている
- 放水をしている
- 高齢者のためポンプが大変

<東富士見>

- 毎年やることはその時の役員が決める
- 何も無い所から炊き出しはテント設営などをやる
- やることがマンネリ化している
- ここ数年悪天候で中止
- 屋内と屋外で訓練

<市子連>

- 子ども会が少ない為、現在コミュニケーションがとりにくい

<幼稚園>

- 子育て世代、防災の事考えている人は少ない
- 3才以上、毎月1回の防災訓練をしている
- 幼保小の同時引き渡し訓練をしている

<先生>

- 敷地が広いので職員が常に携帯と笛を身に着けている
- 幼職員の救急講習をやっている

<中学校>

- 年数回の防災訓練
- 様々な状況の訓練
- 昨年、保護者への引き渡し訓練・職員の訓練もしている
- 授業参観とセットにすることで参加率UP

《事例》

- 宿泊訓練をやる町内会もある
- 台風、避難所運営は難しい
- 水害が起きると移動が大変

多くの住民・団体が関わるには？

関わっていくためには

●中学生が幼保育児の面倒をみてはどうか

- 中学生に幼保の児童の命を任せる事は荷が重い
- 安全が確保された上で任せるなら可能

●訓練日を統一する

- 中学校から地域へ
- 学校のスケジュールはホームページで公表している

